

2015-16年度 国際ロータリーテーマ

世界へのプレゼントになろう

RI 会長 K. R. “ラビ” ラビンドラン

2月は
平和と紛争予防/紛争解決月間です。

国際ロータリー 第2580地区
2015-16年度 ガバナー 鈴木 喬



Be a gift to the world

思いやり (奉仕) の心を持って
地域に貢献

東京武蔵村山ロータリークラブテーマ
第44代クラブ会長 宮崎 茂夫

本日の例会

卓話 榎本 昭 会員

第2117回
例会
2016. 2. 17

次回例会案内 【2月25日(木)】
移動例会 地区大会
＜ホテルニューオータニ＞

第2116回例会報告

(2016年2月10日)

司会 齊藤 孝喜 SAA (会場運営委員)

点 鐘

(宮崎 茂夫 会長)

出席報告

(比留間 一義 会場運営副委員長)

斉 唱

我等の生業
ソングリーダー
(志々田 陽介 会員)



来客紹介

(宮崎 茂夫 会長)

- 山田 義高 様
(武蔵村山市文化振興課 課長・卓話講師)



会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
30名	24名	92.29%	なし

- 事前メーキャップ
原田 友義 会員 (東大和RC)
- 出席免除会員
栗原 高明 会員 榎本 昭 会員

本日の弁当



会務報告

(宮崎 茂夫 会長)

- 東海大学菅生高校より卒業式のご案内を頂きました。
・3月8日(火) 午前10時～
- ホームだより
「いなだいら」を頂きました。
- 武蔵野女子学院より
「ニュースレター」が届いています。

委員会報告

- 親睦委員会 田中 伸彦 会員
5月のソウル国際大会参加ツアーの見積書を本日お配りしました。
当クラブから13名、東村山からは22名です。
5/27(金)～5/30(月)までの3泊4日となりますので内容のご確認をお願いいたします。
当日出発は成田10:35になっていますので、村山を6時～6時半のスタートになると思います。料金もご確認下さい。
また私が今年度、国際奉仕委員長でもありますので、この旅行に関して何かありましたら私が取りまとめていきますので、私に声を掛けて下さい。
- 青少年奉仕委員会 清水 高彦 委員長
先日お願いいたしました、少年サッカー大会まで来週1週しかありません。
回覧を回していますので、3/5の少年サッカー大会の出欠と昼食の必要な方はその旨の記入をお願いします。

幹事報告

(倉内 淳 幹事)

- ロータリー手帳予約受付が始まりました。
回覧致しますので必要な方は○を入れて下さい。



卓話者紹介 プログラム委員会 波多野 晃夫 委員長

それでは本日の講師、山田義高さんの紹介を申し上げます。

昭和34年生まれの56歳になられます。昭和58年に早稲田大学教育学部を卒業し、市役所に就職され33年間勤務されています。内、社会教育業務を25年間たずさわられています。それから商工会係長でも活躍され東日本大震災後には防災安全課長として随分と骨を折られております。

その後、現在の文化振興課長に就かれまして市の公共施設の有料化や予約の電算化など、市民のお叱りを受けながら仕事をされたそうです。ちなみに私が2年前位に商工担当の職にありましたが彼にサポートして頂き、無事に産業まつり等を遂行出来ました。

また、研究熱心な方で多摩考古学会の世話人をやられています。また日本考古学会協会の会員であり、市の職員としては珍しい(笑)活動を行っていらっしゃるようです。生粋の村山人ですので、ああそうか、なるほど面白いと感じるお話になると思われます。それではよろしくお祈りいたします。

「我がまち武蔵村山の歴史」

武蔵村山市文化振興課 山田 義高 課長

皆さん、こんにちは。市の歴史や文化財を長く担当して参りました。そう云った縁がございまして歴史的な事を調べる機会が多かった訳です。30年以上前にお年寄り、一世代、二世代前の方より色々なお話を伺う機会もあり武蔵村山はこんなところだったんだと自分なりに分かってきました。資料館からの歴史的情報や、また出身も武蔵村山である事から皆様にお話を出来る機会が出来てきたと思っています。本日は武蔵村山の古い地図がありましたので、地図を手掛かりに景観、風景をお話しさせて頂こうと思っています。

お配りしました平成21年の武蔵村山の地図を見て頂くと市の範囲が示してあります。市役所、当会場、ふれあいセンターと引又街道と江戸街道を後ほどの地図と比較しやすくする為、黒丸やマーキングしてあります。市の南側には住宅となり北側は狭山丘陵があり高台になっています。

次のページの地図は明治15年の地図になります。先ほどの印やマーキングの位置を比較して頂くと位置関係が分かると思います。芋窪村、中藤村、横田村、三ツ木村、岸村、現在は瑞穂町に入ります殿ヶ谷村が狭山丘陵に沿って並んでいます。北側に等高線が入り組んでいるのは平成21年の地図と同じですが、南側に目を転じますと集落が狭山丘陵に沿った所にしかありません。南側には畑や山林しかありません。砂川村との境には山林しかありませんでした。そこは砂川山と呼ばれていました。昔の村山の人は立川方面の事を山と呼んでいました。残堀は江戸時代初期に水が出た為、狭山丘陵と離れているのに人が住んでいました。昔は水が出る所にしか人は住めませんでした。3ページからの地図は私が作った地図で、集落は網掛して名前を付けています。次の地図は昭和45年当時の武蔵村山の小字を表記してございまして、1枚前の地図の点々はこの小字を表しています。非常に土地の形とか集落と土地との関係が良く分かる地図になったと思っております。南側に上水道が個人的にひけた方や組合で水道を持っていた方は南側に住む事が出来た様ですが、昭和41年の段階でも大まかに見ると明治15年の地図と大差の無い状況が見て取れたかと思えます。



ニコニコBOX (堀田 弘一郎 親睦委員)

☆新海正人会員→妻の誕生日を祝っていただきありがとうございます。

妻子共インフルB型で寝込んでおりましたのでお花をいただきGood timingでした。

◆ 今回計 3,000円 累計 827,000円

◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日
◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
◎ 会長 宮崎 茂夫 ◎ 幹事 倉内 淳
○ 副会長 内野 均 ○ 副幹事 嶋田 哲男
□ クラブ会報委員長 後藤 正次 副委員長 新海 正人
委員 嶋田 哲男 比留間 重次 木内 敬三 九 網代 稔

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店 2階
〒208-0004 武蔵村山市本町 2-91-1
◇ 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
◇ クラブ事務局
〒208-0004 武蔵村山市本町 2-91-1
TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252
Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp

もう一つは村ですね。当時はもう村山町になっているのですが(昭和41年)江戸時代の村の範囲を表記しています。右側の広い範囲に中藤村があり明治時代までありました。その横に横田村があり共に集落と畑の部分が混在しています。現在のかたくりの湯や歴史民俗資料館がある谷筋が一つの村でした。また左に三ツ木村があり峰、宿、後ヶ谷戸と南側に残堀の集落がある非常に長く立川境まで続いていました。岸村も同じで字名で云うと岸しかありませんが狭山丘陵沿いから立川境まで長く続いていました。これが村山のひとつの形でした。

次の地図は小字名の書かれた地図になります。現在は公称の部分で残っておらず消えてしまう運命にありますが、かつては住居表示にも使われていました。今、例えば雷塚小学校とかサイカチ公園が市の施設として残っておりますが、こうした小字名にちなんでこうした名前がつけられています。あと、この地図を作っている事は北側の狭山丘陵に面した集落がある地区の形が亀甲型のきちんとした四角にはなっていませんが、地形に左右されて土地が表記されたからだと思います。南側の、特に江戸街道の南を見て頂くと土地の形が大きいのと四角に表記されているのは、江戸時代の土地開発時に短冊形割りと良く言いますが、広い道に対して間口は狭いですが奥行が長い江戸時代の土地開発のひとつの形になっております。地図右下の西東京街道、西大南、東大南等に見て取れます。

また、武蔵村山の真ん中に立川が細長く入ってきていますが、これは不思議で色々な方によく聞かれます。実は土地の開発の歴史を反映してまして、元々立川の砂川地区と云うのは、江戸時代の初期に岸村の村野さん方が立川砂川の砂田開発を行いました。岸村の南側に畑の開発をしていきましたが、村山分では限界があり砂川の山を開発してしまうと肥料が取れなくなり畑も作れなくなります。山は非常に大事で落葉を集めるところでした。山の開発が出来ないのでさらに下の方に出て行く必要がありました。そこで村野さんは立川の山を越えた反対側の土地の開発を行います。これがどうして出来たかと云うと、玉川上水がひかれ飲み水を得る事が出来たからです。住まいも砂川に移して、立川側から開発を堀堀川に沿って始める事になった為、この部分が立川分になったので大きく村山に入り込む事になったのです。

5ページ以降は村山に残っていた江戸時代の検地帳でどの地区の方がどの様に開発を行った概念図として表したものです。江戸時代の初めには引又街道から江戸街道の間は殆ど畑に転化していました。原野から畑に開発したものです。

最後に、江戸街道の所を明治時代になってアーネスト・サトウと云うイギリスの外交官で幕末から日本に来ていた方で明治時代になり日本の成長が安定すると、日本のあちこちを旅をしたり山登りをしたりしていました。日本旅行日記を出して明治10年にこの辺りの旅をしています。この部分を線引きしましたので、ご参考下さい。この記事から江戸街道には桜並木があった事が伺えます。今、東大に桜街道と云う駅がありますが、あれはこの事実を表しています。昭和初期まで桜並木があったと云う話を聞きます。7ページに4年後に訪れた時の事が書かれています。青梅橋や玉川上水付近の様子が書かれています。道が分かりにくく青梅橋から三ツ木の集落に辿り着くまでの様子が分かります。後は、絵図や当時の様子が分かる資料になっていきますので、ご参考下さい。11ページは私が書いた、武蔵村山その地の由来をつけましたのでご覧下さい。ご清聴頂き、ありがとうございました。

会長お礼

山田先生良いお話しをどうもありがとうございました。景観の移り変わりと云う事で、普通武蔵村山の歴史ですと侍が出て来る話の中で、街道が畑の中にあつたと云う事ですが先人ややはり何も無い所に道を作るのが作りやすかった事を感じました。本当に参考になるお話をありがとうございました。